

第二十七回帝國議會 衆議院 砂糖消費稅法中改正法律案委員會會議錄(速記)第二回

會議

明治四十四年二月十四日午前十時四十五分開議

出席委員左ノ如シ

三土 忠造君 武滿 義雄君 山田 又七君
中川 虎之助君 入江 武一郎君 山本 悌二郎君
出席政府委員左ノ如シ

大藏次官 若槻禮次郎君 大藏省主稅局長 菅原 通敬君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

砂糖消費稅法中改正法律案

○委員長(三土忠造君) 是ヨリ開會致シマス

○入江武一郎君 前回私ハ出席シナカッタデスガ、或ハ前回既ニ御質問濟ニナッテ居ルカ知レマセスガ、一應御尋シタイト思ヒマス、ソレハ此本案ニ付テ本會議ニ於テ過日政府ハ反對デアルト云フ意思ヲ發表サレテ居リマシテ、其大體ハ本會デチヨット承ツタデスガ、未ダ分ラナイ點ガアルノデ、政府ノ意思ノアルトコロヲ詳細一ツ承ハリタイト思ヒマス、即チ此案ニ對スル政府ノ所見デス

○委員長(三土忠造君) 昨日政府委員ヨリ本議會ニ於テ申サレタ三點ノ反對ノ理由、即チ財政ノ關係ト、砂糖其物ノ性質カラ考ヘテ同ジニスルハ均衡ヲ破ルト云フコト、ソレカラ脱稅ノ恐ガアルト云フコトニ付テ御説明ガアリマシタ、最モ未ダ脱稅ノ恐ガアルト云フ分ダケハ説明ガナカッタガ、他ノ二點ニ付テハ既ニ昨日御説明ガアッタノデアリマスソレデ脱稅ノ恐ガアルト云フコトハ、ドウ云フ事情デ其恐ガアルト云フコトニ付テ御説明ニナッタ宜カラウト思ヒマス、前ノハ重複ニナリマスカラ……

○入江武一郎君 ソレデモ宜シウゴザイマス、ソレト序ニ承ツテ置キタイノハ、此改正案ニ依ッテ其結果收入ノ點ニ付テ幾ラ位收入減ラ來スカト云フコトモ、併セテ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(菅原通敬君)

昨日申上ゲマシタコトニ重複シナイ程度ニ於テ申上ゲマシタ、白下糖ノ稅率ヲ引下ゲマシタ云フコト、名ヲ白下糖ニ借リテ脱稅ヲ企テル者ガアル恐ガアルト云フコトヲ、本會議ニ於テ申上ゲマシタガ、何故サウ云フ恐ガアルト云フコトヲ申上ゲマシタコト云フコト、白下糖ト云フモノ、物質上ノ區別ガ、他ノ砂糖トノ間ニ、ハッキリ極ツタモノガナイノデアリマス、是ニ就キマシテハ大藏省ニ於キマシテモイロノト研究シ調査ヲ重ネテ見タノデアリマスガ、成程普通謂フトコロノ白下糖ト云フモノハ、慣例ニ依ッテ造ルトコロハ一ニ極マツタモノガアルノデアリマス、所ガ其出來上ツタコロノ物ヲ取ッテ見マシタコト云フコト、是ガ續岐ナリ或ハ阿波ナリニ於テ、普通ノ方法ニ依ッテ造リ出シタ白下糖デアルカ、或ハ白下糖ニ模造シテ造ッタモノデアルカト云フ品物ノ區別ハ、出來上ツタ其ノ上ノ品物ニ付テ見マシタコト云フコト、ハッキリシタ區別ガナイト云フコトニナリマスノデ、御承知デモアリマセウガ、世間ニハ模造ノ白下糖ト云フモノガ大部流行シテ居リマス、ソレ

ハザラメ糖ヲ煮沸シテ造ルトカ、イロノ細工ヲシテ白下糖ト同様ナ、一見シテ少シモ分ラヌモノガ生ジテ來テ居ル、ソレ等ノモノハヤハリ是モ白下糖デゴザルト云フコトニナルト、二圓ノ低稅率ニナリマス、白下糖ト云フコトガモウ爭フコトノ出來ナイヤウニ劃然區別スルコトガ出來レバ、ソレハ二圓ニ引下ゲルコトハ差支アリマセウガ、他ノ品物ガ白下糖ノ名ヲ借りテ來テモ、ソレヲ發見スルコトノ出來ナイヤウニ實際ノ有様ニナッテ居ル、ソレデ色相ガ低イタメニ稅ヲ低クスルコトニナレバ、ソレハ何處カラ尋ネテモ發見スルコトガ出來マセウガ、色相ガ高イニ拘ハラズ白下糖ト云フ名前ヲ有ッテ居ルト稅ヲ安クスルノデアリマスカラ、他ノ白下糖ト同ジヤウナ色相ヲ有ッテ居ル砂糖ヲ、是ガ白下糖デゴザルト云ッテ偽ッテ來ルモノガアッタ時分ニ、是ハ白下糖デナイカラ二圓ノ稅ヲ課スルコト云フコトハ如何ニシテモ出來ナイヤウナ有様ニナリマス、ソレガ即チ脱稅ヲ生ズル虞ガアルノデアリマス、ソレヲ白下糖ヲ一圓ニ引下ゲタケニ依ッテ生ズル國庫ノ收入ハ、約二十萬圓ハカリノモノデアリマスケレドモ、若シ是ガ引下ガルトコトニナッテ、他ニ脱稅ヲスルコトガ起ッテ來ルコトニナルト、其方カラ國庫ノ收入ヲ減ズルコトハ餘程夥ナクナイ數ニ達スルデラウト思ヒマス、今現ニ白下糖ト査定シテ居ルモノデケラ引下ゲルノデアリマス、二十萬圓ハカリデアリマスガ、他ノ紛レテ入ッテ來ル脱稅ノ分ヲ計算スルコトニナリマス、其金額モ餘程多キニ上ララウト云フ虞ガアリマス、其計算ノ如キハ無論ハッキリ申スコトハ出來マセウガ、必ズヤ五萬トカ十萬トカ云フモノガ減ジテ來ルデアラウ、少クトモ或ハ多キ場合ハモット澤山ニモナルカモ知レマセウガ、少クモ五萬十萬ハ減ズルデラウ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居リマス

○中川虎之助君

段々御話ヲ伺ヒマシタガ、尙チヨット御尋シタイコトガアリマス、其紛ラハシイ砂糖ト云フノハ消費稅法中改正ノ出來テ居ラヌ時代、曾爾サンノ大藏大臣デアッタ時分ハ、隨分脱稅ヲ東京大阪デ——百姓家ガスルノデハナイ砂糖屋ガスル、砂糖屋ノ中最モ甚シイノハ下級ノ砂糖ヲ上級ノ砂糖ヲ以テ模造ヲ拵ヘテ——白下デ黑砂糖ノ模造ヲ拵ヘテ、サウシテ白下ノ色相ヲ原料ニ使ッタ名前ノ下ニ脱稅シテ居ッタ跡ガアッタ、私ハ曾爾サンニモ忠告ヲシテ、ア、云フコトデハ泥棒ニ國庫ノ財源ヲ取ラレテシマフト云フコトヲ言ッタガ、去年位マデハ其弊ガ幾ラカアッテ、神戸ノ鈴木組合等ガ薯ノ粉ヲ入レタト云フヤウナコトモアッテ是モ發見サレテ、ソレカラ政府モ注意ガ届イテ來テ改正案ヲ出シテ、階級モ追加シテ四種ヲ六種ニモ級ヲ殖シテ、ソレガタメニ良イ砂糖デナケレバ展稅ヲ内地デハ貫ヘスト云フコトヲ發見シテカラ、其弊ヲ減ジテ居ル、其結果シテ今菅原サンノ心配スルヤウナコトハ、モウ去年ノ消費稅法中改正シタ結果、何處ニモナイト見テ居リマスガ、マダアリマスガ、ソレカラモウ一ツハ、チヨット先キニ申シタ砂糖黍カラ製造シテ居ルトコロノ四國九州琉球邊、ソノ百姓ガ砂糖黍ヲ取ッテ出テ製造工場ヘ入レルト、彼ノ帳簿ト云フモノガ官カラ來テ居ッテ、此帳簿ニ原料何百何十貫ト記入シテ檢査官ガ査定スルカラ、ドレダケ出來タト云フコトガ分ルカラ、脱稅ノ虞ハナイト思ヒマスガ、御心配ハドウ云フ點デアルカ、ソレヲ伺ヒタイ

○政府委員(菅原通敬君) 昨年稅法ヲ改正シテ結果トシテ、色相ノ高い砂糖ヲ以テ色相ノ低い砂糖ヲ造ルヤウナコトノ、弊ノ段々少ナクナタト云フヤウナコトハ御話ノ通リデアリマス、所ガ白下糖ガ色相ノ如何ニ拘ラズ、安ク取ルコトニ極メテシマフコトニナルト、茲ニ斯ウ云フコトガ直チニ生シテ來ル、假リニ此砂糖ト砂糖トハ色相ハ同シト見テ居ル(標本ニ就テ説明ヲ爲ス)所ガ斯ウ云フ形デ課稅ヲ受ケルト、是ハ三圓ノ稅ヲ取ラレ、ソレカラ斯ウ云フモノニスルト二圓デ濟ム、斯ウ云フモノニスルト二圓デ濟ム、斯ウ云フコトニナル、色相ハ同ジナシテ、唯トロくシタ白下糖ノヤウナ形ヲ持タヌト二圓ニナル、是ガ直チニ斯ウ云フモノニ變ルコトガ出來ル、色相ノ高いモノヲ低いモノニスルノデハナイ、色相ノ同ジモノニシテソレデ此方ハ安クテ濟ム、ソレカラ例ヘバ讃岐ノヤウナ所ニ於テ細カラ甘蔗ヲ取テ來テ、砂糖ニスルマデノ間ノ行程ハ、悉ク官吏ノ監視ノ下ニ於テヤリマス、斯ウ云フ砂糖ガ斯ウ云フモノニ變ハルヤウナコトガ現ハレテ居ル、又斯ウ云フコトヲ殊更ニスル氣遣ヒハナイト云フ御話モアルケレドモ、ソレハサウデハアリマセヌ、ソレハ今マデノヤウニ同ジナラバドチラデヤツテモ同ジデカラ、此砂糖ヲ殊更ニ此砂糖ニ變ヘル筈ハナイ、所ガ白下ノ外ニ普通ノ砂糖ガ出來ル、赤イ砂糖ガ出來ル、赤イ砂糖トシテ査定ヲ受ケルコトニナルト二圓ノ課稅ヲ受ケル、此砂糖ヲ出スト二圓ノ課稅デ濟ム、斯ウ云フコトデアルト云フト、今マデハ同ジ稅デアツタカラ白下ハ白下トシテ出シ、赤糖ハ赤糖トシテ市場ニ出ルガ、此方ガ低イタルト赤糖ヲ造ルモノガ無クテ白下トナツテシマフコトニナリマス、今マデ白下ニ代テ世ノ中ニ出ル、今マデノ白下ダケデモ、殆ド二十萬圓ダケノ國庫ノ減損ト見テ居ルガ、將來ハ赤糖ガ白下ニ代テ參リマスカラ、國庫ノ減損ガ二十萬圓以上ニ達シマス

○中川虎之助君 能ク分リマシタガ、一方ノ赤糖ガ——良イ、砂糖ガ白下ニナツテ一圓稅ガ下ツタカラ、其爲ニ良イ砂糖ヲ更ラニ白下ニスルト云フコトハ、アナタ一圓稅率ガ下ツタメニ實際起ルト云フ御見込ガアリマスカ、之ヲ搾ツテ取ラヌトサウハナラヌ、一旦粗製シタ奴ヲ再製セヌデハサウナラヌ、ソレヲ又ネバくノ砂糖ニ一圓稅ガ高イタメニ相當値ノアルモノヲ——一斤十二三錢モ致シマセウ、ソレヲ十錢スルカセヌバくノモノニスルト云フコトハ、實際ニ於テナイコト、思フ、若シアツタ無理ダト思フガドウデスカ

○政府委員(菅原通敬君) ソレハ二ツノコトガアルカラ、混同スルトイカヌデス今私ガ御話ヲシタ一ツノ方ハ今マデ讃岐ノ砂糖屋ト云フモノハ、斯ウ云フモノモ造レバ斯ウモノモ造ル、所ガ同ジ稅ガ今迄掛ツテ居ルカラ、寧ロ成ベクコトヲ方ノ砂糖ニスル、アナタノ白下ト云フモノハ第一種ト稱フルモノデアアル、ソレカラ白下ト云フモノヲ製造シタモノヲ總テ二種ト極メテ居ルト、問題ハゴザイマセヌヨ、私ノ言フハサウデハナイ、此製造シタ第一種ノモノカラ又アルデアリマス、白下糖ニ第一種バカリデハナイ二種ノモノモアリ得ル、又現ニ在ルト假定ナシ、若シ無カッタナラバソレハ別問題デアルガ、サウ云フモノガアルトスルト今迄ハ同ジ稅アツタカラコトヲ方ニ往クト云フモノニナツテ居タガ、コトヲガ一圓ト、安イモノニナルト手ヲ掛ケテ、サウシテ稅ガ高クナツデ、サウシテ高ク賣レナイト云フコトニナリマスカラ、稅ガ安クテ能ク賣レル白下糖トシテ賣ツテシマフコトニナリマス、故ニ若シ白下ト云フモノガ安クナルト、讃岐ノ糖業上ニ於テ斯ウ云フ現象ヲ生シマス、白下糖ヲ出ス方ガ多ク、製造ノ砂糖ノ方ヲ出スモノガ少ナクナルト云フコトガ起ルト云フ

現象ヲ私ハ見テ居リマス、ソレ故ニ今迄白下糖ノタメニ二十萬圓ダケ減ズルノハ、現在デアルケレドモ、若シ此方ガ増加シテ參リマスト、二十萬圓ダケノ國庫ノ減少デハ濟マヌ、尙三四十萬圓モ減少スル虞ガアル、ソレガチヤント此方ノ色相ガ違ハヌモノデアルト極メテシマフト、其邊ノコトハナイカモ知レマセヌガ、色相ノ上ニ於テ少シモ變ツテ居ラヌカラ、コトヲ減ツテコトヲ増スト云フノ結果、今計算シテ居ル二十萬圓ヨリ多クノ減少ヲ來スト云フコトガ一ツ、ソレカラモウ一ツノ方法ハ、如何ニ砂糖ノ取締ガ嚴重ニ行レテ、如何ナル場合ニ於テモ白下糖ノ密造デアルトカ脫稅ト云フモノヲ防グコトハ出來ナイ、十分ニ力ガ届クナレバ何モ恐ル、コトハナイガ、ナカくサウ云フ風ニ今日檢査ノ取締ガ行届イテ居ラヌ、サウスルトヤハリ既ニ出來テ居ルトコロノ砂糖ニハ、未ダ査定ヲ受ケナイ、ソレガ白下糖ノ形ニ外貌ヲ見セカケテ、サウシテ今迄當リ前ニ課稅ヲ受ケルナラバ、三圓ノ課稅ヲ受ケナレバナラヌモノガ二圓ノ課稅ヲ受ケルカラ、其方ガ無クナツテ往クト云フ虞ガアルト云フ二ツニナツテ居ルデアリマス

○中川虎之助君 モウ一ツ御尋ヲ致シマス、唯今ノ御話ハ分リマシタガ、良イ砂糖ガ少ナクナツデ、稅ノ安イ方ガ餘計ニ出來ルト云フコトデアルガ、是ハ實際稅ノ輕イ方ガ餘計出來ルニ相違ナイ、之ニ付テハ讃岐ニ限ラヌ、臺灣島デモ何デモ稅ノ安イ方ガ稅ノ高い方ヨリ餘計ニ出來ルノハ、何所デモ同ジデアリマセウ、内地ノ砂糖モ何十萬ト出來タガ御承知ノ通り近來ハサウ云フモノハ追々減ツテ、今日ハ稅ノ手加減ガ行ハヌデモ殆ド止マルヤウニナツタト云フ御見込デスカ伺ヒマス、ソレカラザラくスル方ノ良イ砂糖ハ、ズンく減ツテ來テ、今日ハ殆ドアルカナイカ——減ツタト云フコトヲ認メテ居ルヤ否ヤ承リタイ、ソレカラ今一ツハ白下ノ砂糖泰ノ製造場ヲ起シ、サウシテ之ヲ壓搾シテ、例ヘバ千貫ノ甘蔗ニ對シテ一割二三ノ白下ガ出ル、之ヲ査定スルニ十分ニ取締ガ出來テ居ラヌト云フ御話ガアリマスガ、ナカく私等ノ地方デハ餘程念ガ入ツタル、ナカく行届イテ居ル、酒屋ヲ査定スルヨリヒドイ位デカラ脫稅ノ出來ヤウ筈ガナイ、今日ノ査定ノ仕方ハ周到ニ嚴重ニ行届イテ居ル、故ニ私ハ斯ウシタラ如何カト思フ、是ハ政府委員ニ御相談ダガ、甘蔗搾汁場ニ於テ搾汁ヲ製造シタルモノニシテ他糖ヲ混合セザルモノ、又ハ分密セザルモノニ限ルト云フ但書デモ入レテ置ケバ如何デス、斯クセバ判斷スルコトハ起ルマイト思フガドウデス、現在ノ査定ハ甘蔗百斤ニ對シテ白下凡ソ一割ト極メテ、ソレヨリ多少ノ差ヲ見テ競争シテ營業ヲ致シマスカラ、白下ノ方ガ今日脫稅スルト云フ譯ハナイト思フ

○政府委員(菅原通敬君) 第一ノ御尋ノ四國地方ニ於テ、所謂再製糖ト云フモノノ製造高ガ段々減ツテ來ル傾向ヲ有ツテ居ルガ、ソレハ認メルカト云フコトハ彼ノ地方ニ於ケル砂糖ノ全體ガ納期ガ以前ノヤウデナイカラ、從ツテ減シタト云フコトノ事實ハ承知シテ居リマス、ソレカラ第二ノ白下糖ト稱スル甘蔗搾汁ヲ製造シタルモノニシテ、他糖ヲ混合セザル又ハ分密セザルモノヲ云フト云フヤウナコトヲ、法律ニ書クト云フコトハドウカ、如何ニモ書ケバ書ケマセウ、併シ元來砂糖ニ定義ヲ與ヘルト云フコトハムツカシイ、例ヘバ黑砂糖ハ何デアルカト云フ黑砂糖ニ付テモ亦定義ヲ與ヘナレバナラヌ、或ハ糖蜜ニ付テモ定義ヲ與ヘルト云フヤウナコトハ、頗ル困難デアル、尙糖水ナドニ至ルト尙更困難デアル、要スルニ砂糖ニ對シテ定義ヲ與ヘルト云フコトハ餘程ムツカシイ、而シテ假リニ定義

ヲ與ヘルト云ツタコロデ、其通り實行上差支ナク往ケルカドウカト云フト、定義ハ文字
デハ書ケメセウガ、實行ニ臨シテハ到底其通り往ケルコト云フ保證ハ出來ナイ、殊ニ又白
下糖ニ付テハソレダケノ定義ガアツテ、其通りヤラウト云ウテ見タコロデ、今言ウタヤウニ
審査ガ取締上各人ニ付テ周密ニ届イテ居ルト云フ譯ニハイカヌカラ、ソレヲ犯シタ者ハ
犯則アルト云フダケノコトデ、其犯則者一々取締テ行ケルカト云フト到底行ハレナ
イ、十分ニ其目的ヲ達スルコトハ出來ヌト云フコトニナル、サウスレバ折角書イテ居タ
コロガ效果ハ舉ラヌト云フヤウナコトニ、終リハセヌカト云フヤウナ心配ガアルノデアリマ
ス
○中川虎之助君 一通リ承ツテ了解シマシタガ、モウ一ツ伺ヒマス、其方ノ紙袋ニ入
レルヤウナ、其處ニアルヤウナ物が段々衰退シテ無クナツテ來ルコトハ政府ニ於テモ知ツテ
居ルト承ツタガ、白下デモ大阪ヤ東京デ、小賣營業者ナドガ餘所ノ飴ヲ持ツテ來テ入レ
タリ、其方ノ砂糖ヲ入レタリシテ居ルコトハ、新聞ニモアルヤウナコトデ、再製トカト云フ名
ノ下ニ爲シヨル者ガアルヤウニ思ヒマス、課税ノタメニ殆ド脱税ハ出來ヌト云フコトガアリ、
又地方ノ農家が爲シヨル方ハモウ白下ノ方デ、ドウゾ斯ウツ甘蔗ノ耕作ヲ維持シテ行ク
ト云フ、其方ノ紙袋ニ入レルヤウナノ出來居テモ引合ハヌカラ、再製糖會社トカ
臺灣デ出來ル砂糖ノタメニ、今日段々無クナツテ行キ居ルノヲ政府ガ御承知ナラバ――
白下ニ對シテ政府ガ四國琉球小笠原アタリデ出來居テ其方ノ砂糖ヲ止メテ居ルノヲ御
覽ニナツタラ、絶對ニ脱税者ガ一人モナイト云フヤウナ理想ノ高イ御議論ハ、眞ニ行ハ
レヌト云フコトヲ主張シナイデモ宜カラウト思ハレル、サウスルト内地ノ砂糖ハ皆潰レル、ソ
レデモ仕様がナイト云フ思召アルカ、ソレヲ伺ヒタイ
○政府委員(菅原通敬君) 唯今ノ中川君ノ御意見ニ對シテハ、昨日モ御話シタ通
リ、砂糖ノ政策ニ關スルコトニナツテ來ルノデ、政策ニ關スルコトニ付テハ大臣ナリ次官ガ
ラ御答ヲ求メラレテ居ルト云フコトニナツテ居リマスカラ、申上ゲヌ方ガ宜カラウト思ヒマス
ガ、昨日チヨット申上ゲタコトヲ繰返シテ申シマスルト、免モ角今日ニ於テハ内國ノ費消
ヲ充スダケノ砂糖ノ供給ト云フモノガ、内國デ行ハレルト云フマデニ最早達シテ居ル時デ
アルカラ、課税上ノ關係カラ、特ニ内地ノ糖業ノ利益ト云フ方法ヲ取ツテ、サウシテ内
地糖業ノ獎勵ト云フコトヲ圖ラナケレバナラヌト云フマデニハ必要デヤナイデヤナイカ、ソレ
デ自然ノ自由競争ニ任シテ置イテ、ソレガ成立タヌト云フナラバ仕方ガナイデヤナイカ、併
ナカラ又地方々々ニ於ケル勸業上ノ獎勵ト云フ方カラ行クト云フコトアルナラバ、別問
題アルガ、政府ノ大體ニ於テ執ルベキ政策トシテハ、今ノヤウナコトモヤラナケレバナラ
ヌト云フコトハ、必要デヤナイカト云フ位ノ考ハ持ツテ居リマス

○中川虎之助君 大體ノ質問ハ濟ミマシタガ、併ナガラ今モウ一ツ伺ヒタイノハ、政
府ハ四國邊デ出來テ居タ紙袋ニ包ム砂糖ノ減ツテシマフコトモ知ツテ居ル、白下ヲ廢メ
タノヲ繋グト云フ途ノナイコトモ知ツテ居ル、又大體白下糖ノ法律ノ定義トデモ云フカ、
製造工場デ他糖ト混淆又ハ分蜜セザルモノニ限ルト云フコトニシテ査定スレバ、不都
合ナク目的ヲ達セラレト云フコトニ付テハ、ソレハスルニ及バヌ、往ケヌデアルト云フヤウ
ナ御答ヲ爲スダケ、大體ニ於テ判斷ハ付キマシタガ、併ナガラ此處デモウ一ツ伺ヒマスノ
ハ、白下ハ問題ガ變ツテ來ルガ、眞ノ自由競争デ自然ノ淘汰デ無クナルカラ仕様がナ
イト云フ御議論ガアツタニ付テ、御尋スル、自然ニ放任シテモ政府ノ手心デスルトカ、納

税ニ特別ノ關係ヲ許ストカ、機業者其他ノ獎勵ト云フ恩典モ今行ハレテ居ラヌデアナ
イ、行ハレテ居ルノデアアル、サウスルト一方ニハ斯ナ特典ガアリ世話ヲシテ居ル、自由競
爭デ自由ニ放任シテシマフノナラバ、吾々モ内地ノモノハ幾ラドウ言ハウガ決シテ請願モ
取繼ガネバ法律案モ提出シヤシナイ、併ナガラ繼子ヲ自在ニシテ居ツテ、繼子ガ成長セヌ
ノハ是ハ自然デアレバ弱イ、ソレデ成長セヌノデアアル、斯ウ云フコトヲ政府ハ仰シヤルヤウ
ニ私ハ考ヘル、今日ノ帝國ノ糖業ハ自由競争デ勝手ニサセテ置イテ、サウシテ四國ノ糖
業ガ衰ヘルトカ、九州糖業ガ衰ヘルトカ仰シヤルノハ、素人ナラソナ事ヲ言ウテモ宜イカ
知ラヌガ、其道ヲ知ツテ居ル者ニ向ツテハ、決シテ其様ナコトハ言ヘヌト思フ、一方ハ非
常ニ保護シ一方ハ迫害シテ居リナガラ、尙全ク自由競争デアツテ、ドコモ保護ハシテ居ラ
ヌ世話ハシテ居ラヌ、ドコモ同ジヤウニ千篇一律デアアルガ帝國ノ糖業ガ衰ヘテ居ルト、斯
ウ云フコトヲ政府委員トシテ確カニ言フ勇氣ガアルカ、更メテ伺ヒ置キタイノデアリマス
○政府委員(菅原通敬君) 成程是マデノコロデハ臺灣ノ如キハ政府ノ保護ノ下ニ
糖業ガ發達シツ、アツタ、是ニ反シテ四國等ノ砂糖ニ付テハ特別ナル政府ノ保護ガ無
カッタデアアル、從ツテ多少臺灣糖或ハ外國糖トノ壓迫ヲ受ケテ、維持困難トナツタト云
フ事實ガアツタデアラウト思フノデス、是ハ度々既ニ御議論モアツタ點デ、繰返シテ申上ゲ
ルマデモナイコト、思ヒマスガ、臺灣ノ糖業ガ何故ニアレマデニ保護獎勵ヲ受ケタカト云フ
ト、詰リ外國糖ニ對スル對抗上、外國糖ト直接ノ競争者デアルトコロノ臺灣糖ト云フ
モノニ對シ、相當ナル保護獎勵ヲ加ヘテ、結局外國糖ヲ全ク防遏シテ往クト云フコロノ
大ナル趣旨ノ下ニ、此事ガ計畫サレタアツタモノト思フノデアアル、併シ其事モ此關稅ノ改
正ト云フコトガ一方ニアリ、又他ノ一方ニ臺灣ノ糖業モ豫期ノ通り發達シタル今日ニ
ナツタデアアルカラ、將來ニ於テハ全ク臺灣ノ糖業モ政府ノ保護ト云フコトヲ離レテ、獨
立シテ競争ガ出來ルト云フ地位マデ進シテ來タ、斯ウ云フノデ、將來ニ於テハ臺灣ニ對
スル糖業ノ保護モ全ク無クナルデアラウ、又無クナルコトノ方針ヲ以テ今進ミツ、アルノデ
アル、ソレ故ニ將來ノ讚岐其他ノ砂糖ニ對シテ、新タニ課税ノ方法ニ依ツテ糖業ヲ保護
シテ往クト云フ意味ヲ以テ、計畫ヲ立テルト云フコトハ必要ノコトデアアルマイカト云フヤウ
ニ私共ハ考ヘテ居リマス、殊ニ又内地ノ製糖業ニ對シテ、或ハ手心ヲ用井或ハ税金ノ
延納ヲナシメテ、格別ナル保護ヲ加ヘテ居ルト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、内地ノ糖
業ニ對シテ決シテ手心ヲ用井テ恩惠ヲ施サヤウナコトハ無イノデアルト云フコトハ、度々辯
明シテ置キマシタカラ精シク申シマセヌガ、此税金ノ延納ヲ許シタルト云フコトハ、是ハ會
社ノ保護ノ目的ノタメニヤツタモノト御考ニナルノハ違ッテ居ルノデ、或ハ會社トシテ其結
果トシテ保護ヲ受ケタト云フヤウニナツテ居ルカ知レマセヌガ、直接ノ目的ト云フモノハ、
全ク一時會社ノ破産ニ瀕シ、若シ其儘ニシテ置イテ世間ヲ騷擾セシメ、一般經濟社會
ノ動亂ヲ惹起スト云フ極メテ惡シキ影響ヲ生ズルト云フガタメニ、之ヲ防グトコロノ趣意
カラ行ハレタノデ、決シテ内地ノ製糖會社ニ對シ、特別ナル恩典ヲ與ヘルタメニ、特別ナ
ル保護ヲ與ヘルタメニ、彼ニ延納ヲ許シタルト云フヤウナモノハナイノデアリマス、勿論將
來ニ於テモ内地糖業ニ對シ特別ナル保護ヲスルト云フ考ハ、政府トシテ持ツテ居ラヌノデ
アリマス、ソレダケハ御諒承ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス

○中川虎之助君 今菅原サシニ承ハルト、内地ノ糖業ヲ保護スルト云フ積リハナイ、

潰レタラ潰レタナリト云フヤウニ仰シヤッタヤウニ聞ヘマシタガ、サウ心得テ宜シウゴザイマス
カ、サウスルト總理大臣カ一昨年農商務大臣ガ吾ニ言ハレタコトニ對シテ、大ニ相違
スルコトガ起ッテ來ルカラ、念ノタメニ伺ッテ置キマス、内地ノ製糖ハドウデモ宜イト仰シヤッ
タヤウデスカ

○政府委員(菅原通敬君) ツレ程マデ極論ハ致シテ居ラスノデス、如何ニモ内地ノ
産業デアリマスカラ、ツレハ何業ニ限ラズ總テ發達シ繁榮シテ往クコトヲ、政府トシテ考ヘ
ナケレバナラス、又ツレダケノ方法ヲ執ッテ往カケレバナラスノデアルガ、課稅ノ關係ニ依ッ
テ内地糖業ニ利益アル手段ヲ講ズルマデノコトハナカラウ、私ハ課稅上ノ見地カラ申シテ
居ルノデスカ、御間違ナイヤウニ御諒承ヲ願ヒマス

○山本悌二郎君 チヨット伺ヒマスガ、此白下ハ今ドレダケ需用ガアリマスカ

○政府委員(菅原通敬君) 二千万斤デアリマス

○山本悌二郎君 ツレデ一向課稅變更ノ結果トシテ此方ヲ多ク造ルト云フコトニナッ
タナラバ、例ヘバ今ノ二千万斤ガ三千万斤ニ殖エテモヤハリ需用ガアルノデスカ

○政府委員(菅原通敬君) 此白下糖トカ黒糖トカ申ス砂糖ノ品位カラ申セバ、白イ
砂糖トカ分違ッテ居ルコトハ申スマデモアリマセウガ、多年慣習ノ上カラ特ニ白下トカ黒
糖トカ云フモノヲ嗜好スル人民ガ、大分アルノデアリマセウガ、ナカノ容易ニ之ヲ廢ス
ルコトハ出來ヌト云フノデ、白下糖ノ需用ノ如キハナカノ多クアリマス、ツレデ白下糖
ノ割合ニ價格ノ高クナッテ居ルト云フコトモ、詰リ需用ガ多イニ隨テ供給ガ多イニ過ギ
ナイト云フコトガ、今日其原因ヲナシテ居ラウト思ヒマス、前ニハ白下ノ需用ハナカノ
多クアルノデス、ツレガ一方ノ供給ガ十分調ッテ居ラヌタメニ、幾ラカ減ッテ來タト云フノ
デスカ、若シ是ガ幾ラモ製造ガ出來ル、價格モ幾ラカ今マデヨリ減ズルト云フコトニナリ
マシタナラバ、需用ハ必ズ殖エラウト思ヒマス、或程度マデハツレガ四千万斤ニナッ
テモ五千万斤ニナッテモツレデ賣レルカト云フト、ツレ程餘計ナ見込ハ今日アリマセウガ、二
千万斤ノモノガ三千万斤ニナルヤウナコトガアッテモ、決シテムツカシイコトハナイト考ヘテ
居リマス

○委員長(三土忠造君) 此白下ヲ一圓下ゲルト、外ノ白下デナイ砂糖ヲ白下ノ形ニ
直スト云フ恐ガアル、其恐ヲ政府デハ餘程強ク有ッテ居ラレヤウデアリマスガ、他ノ地
方ハ私ハ知リマセウケレドモ、四國ナド實際白下ヲ造ッテ居ル實況ヲ見マスト、私ハ近
頃砂糖ノコトハ能ク見ナイデスカレドモ、私ノ家デハ砂糖ヲ榨ッテ居ル砂糖ノ製造モシ
テ居ッタシ、大阪ヘ積出シモシテ居ッタノデ、能ク製造ノ順序ヲ取引ノ習慣ハ大體心得
テ居ル積リデアリマス、ツレデ此白下ヲ榨ッテ白ニシテ即チ赤糖ニスル——白ノ惡イヤツニ
スル、サウスルトツレハ稅ガ高イカラ又白下ニ戻スコトハ是ハ無論ナイコト、思ヒマスガ、其
他ニ於テハ此惡イ白下トカ或ハ赤糖黒糖ナド買ッテ來テ、之ニ其飴ヲ混ゼテサウシテツ
レバ白下ニシテ出スト云フコトハ随分アラウト思ヒマス、併シツレニナルト赤糖ナリ黒糖ナ
リ惡イ白下ナリ、皆ツレノ稅ヲ課ケラレタ後デスカ、ツレハ若シ出來テモ構ハヌト思
ヒマス、ツレカラ白下ヨリ以上ノ砂糖ヲ持ッテ來テ、白下ヲ造ルト云フコトハ決シテナイト
思ヒマスガ、サウ云フノハドウ云フモノデアリマスカ

○政府委員(菅原通敬君) 如何ニモ既ニ稅ノ掛リマシタモノヲ以テ白下ヲ造ルト云フ

コトハ、先程中川君ノ言ハレタ通り、稅法改正ノ後ニ於テハモウ殆ド其跡ヲ絶ツタ言ッ
テモ宜イ位ニナッテ居ルノデアリマス、又假リニサウ云フモノガ出來マシテモ、既ニ稅ノ掛ッ
タ物デアラナラバ一向妨ゲナイト云フモノモアリマス、其方ノ眞ト云フモノハ極メテ少ナイ
ノデアリマス、ツレデ唯白下糖ヲ造ッテモ宜シ、ツレカラ赤糖ヲ造ッテモ宜シト云フモノガ、
白下糖ノ方ノ稅率ガ低クナルガタメニ、白下糖ノ方ヲ多ク造ルトコトニナッテ、赤糖ヲ造ル
コトガ少クナルト云フコトダケハ、ドウシテモ現ハレテ來ル結果ダラウト思ヒマス、其處ニ對
シテ私ハ重ク考ヘテ居ルノデアリマス、ツレハ主トシテ其稅源ノ方カラ申スト、詰リ今日
二十万圓ト申シテ居ルデモ二十万圓デ相濟マヌコトニナル

○委員長(三土忠造君) 赤糖ハ讚岐ナドハ極ク少ナイデスカ……

○中川虎之助君 赤糖ト云フノハ政府ガドレヲ言フノカ知ラヌ、四國ノ赤糖ガドウモ
合點ガ往カヌ

○政府委員(菅原通敬君) 詰リ再製糖デス

○中川虎之助君 白下ヲ榨ッテサウ云フ風ニシタノヲ云フノデスカ

○政府委員(菅原通敬君) サウデス

○委員長(三土忠造君) 蜜ノ方ハ詰リ稅ガ高イデス、其爲メニ榨ッテモ割ニ合ハヌト
云フノデ段々無クナル、ツレハ白下ノ稅ガ高イトカ廉イトカ云フモノデナクシテ蜜ガ高イ、ツ
レカラ榨ッテ出シテモ斯ウ云フ砂糖ガ段々出テ來マシタ、是ダト競争ガ無イ需用モナイカ
ラ段々減ッテ來マス、是ハ稅ノ如何ニ拘ハラズ自然無クナルダラウト思ヒマス、唯榨ル船
ヲ持ッテ居ッテツレバ遊バヌノハ困ルトカ、或ハ小作人ニ金ヲ貸シテアッテ、其年貢ニ取ッ
テモノ澤山持ッテ居ッテ、自分ノ方デ榨ラナケレバ困ルト云フ大百姓デ少シヤッテ居ルケ
レドモ、ツレバ目的トシテ商賣デヤッテ居ル所ハ段々無クナッテ來ルト思ヒマス、其方ノ眞ハ
餘リ強ク持ッテ宜カラウト思ヒマス(此時若槻政府委員出席ス)次官ガ御出席ニナ
リマシタカラ一ツ伺ヒタイト思ヒマスガ、昨日カラ今日ニ掛ケテ砂糖ノ課稅問題ダケニ付
テ主ニ質問ヲシテ居ッタノデス、所ガ此稅ヲ下ゲルト云フコトハ單ニ課稅ノ問題バカリデ
クシテ、幾分カ製作ノ問題ガ入ッテ居ルカラ、大藏次官ニ一ツ伺ッテ見タイト思ヒマス、
此白下ノ稅ヲ一圓下ゲルト云フ案ヲ提出致シマシタ時分ニ、菅原政府委員ガ政府ヲ
代表シテ反對ノ理由トシテ述べラレタノニ二箇條アッタト思ヒマス、第一ハ白下ノ稅ヲ下
ゲルト忽チ白下デ二十万圓程政府ノ財源ニ缺陷ヲ生ズル、ツレカラ白下以上ノ砂糖ヲ
白下ニシテ、サウシテ稅ヲ廉ク免ル、ト云フコトヲスルカラ、ツレガタメニ政府ハ財源モ減
ルシ、又課稅ノ均衡モ害スル、ツレカラ今一ツハ白下ト云フモノハ黒糖ナドヨリハ砂糖ツ
レ自身ガ宜イモノデアラカラ、之ニ高イ稅ヲ課シテ置クコトハ稅ノ均衡ヲ得ルタメニ必要
デアル、若シ白下ヲ下ゲルト他ノ砂糖トノ均衡ヲ害スル、斯ウ云フ理由デアッタト思ヒマ
ス、ソコデ其問題ガ課稅ノ問題トツレカラ製作ノ問題ト二ツニナルト思ヒマス、昨日カラ
段々質問致シマシタ結果ニ依ルト、政府ノ方デハ此白下ト云フモノハ黒糖ヨリ餘程高イ
モノ、ヤウニ見テ居ラレヤウデアリマス、詰リ市場ノ相場ヲ以テ一ツノ砂糖ノ品位ヲ定
メテ居ラレハセウカト思ヒマス、ソコデ此相場表デス、是ハ一月ノ大阪ノ相場デアリマス、
ツレヲ取ッテ見マスト彼處ニ何カ新聞ガアリマシタカラ、ツレニ依ッテ造ッタノデス、ツレニ依
ルト諸方ノ白下ヲ平均シタ相場ガ百斤ニ付十圓五十錢、黒糖ノ方ガ八圓七十三錢、

斯ウアタノデアリマス、十圓五十錢ト、ソレカラ八圓七十三錢ト云フ之ヲ以テ比較スル
ト云フト、非常ニ白下ノ方が高クシテ黒糖ノ方が廉イモノデアリヤウニ見エマスケレドモ、
取引ノ習慣ヲ見ルト白下ノ方ハ口錢ヲ白下ヲ造ラタ者カラ出シ、黒糖ノ方ハ買フ方カラ
出ス、斯フ云フ習慣ニナッテ居リマス、其タメニ其口錢が幾ラカト云フト、白下ノ方ガ二
十一錢五厘百斤ニ付テナルノデス、黒糖ノ方ハ口錢ハ買手が出スノデアリマスカラ別ニ
シテ置イテ、兎ニ角三十一錢五厘ダケ造ラタ者ガ口錢ヲ拂フデアル、ソレカラ入レ目ト
云フヤツノ習慣ガアル、白下ノ方ハハ入レ目ト云フコト大變損スルノデス、百斤ニ
付テチヨット五十錢四厘四斤八分——百斤ニ付テ四斤八分ノ入レ目ガアルカラシテ、
之ヲ差引カナケレバナラヌ、サウ云フモノヲ差引テ見マスト砂糖其モノ、相場ガ白下ハ九
圓六十八錢ソレカラ黒糖ノ方ガ九圓二十一錢トスナル、ソレヲ差引キマスルト白下ガ
黒糖ヨリ高イコトガ四十七錢ダケ高イデス、四十七錢ノ差ガ詰リ白下ト黒糖トノ砂糖
ノ品位ノ差ト見テ宜カラウト思ヒマス、若シ精密ニ稅ヲ割出スコトガ出來ルナラバ、黒糖
ノ方ヨリモ白下ノ方ガ四十七錢稅が高クナッテ居ルト思ハレル、ソレハ砂糖ノ性質バカリ
カラ見タノデアリマス、所ガ又一方ノ方デ製作ノ方カラ考ヘテ、ソレヲ製作スル人間ノ儲
カル、詰リ手取金ノ高ヲ見ルノニハ又イロ／＼ナ他ノ方ヲ見ナケレバナリマセヌガ、白下
ノ方ハ樽ノシカリシタノガ要リマスカラシテ、ソレニ對シテ百斤ニ付テ六十五錢ノ樽ヲ要
スル、ソレカラ運賃モ黒糖ヨリ少シ高イ、運賃が大坂マテ持ッテ行クノニ五十五錢ニナル、
黒糖ハ樽代ガ二十錢運賃ガ三十五錢デアル、斯ウ云フモノトソレカラ今ノ取引ノ習慣
ヨリ生ズル差ト砂糖ノ稅ノ一圓ト一方ハ三圓、ソレヲ差引クト白下ヲ造ル方ノ百姓ノ
儲カル金ハ百斤ニ付テ五圓四十八錢一厘デアル、ソレカラ黒糖ハ六圓五十六錢儲カル
コトニナル、故ニ今ノヤウニ稅ヲ一圓ノ差ヲ付ケルト、ドウシテモ黒糖ヲ造ラタ居ル地方ノ
人民ハ、今一圓デモ困ッテ居ルノガ尙一層困窮スルト云フコトニナル、ダカラ斯ウ云フ百
姓ガ取レル方ノ金ノ問題カラ考ヘテ、幾分カ稅ノ方モ製作上考ヘナケレバナラヌ、公平ニ
シナケレバナラヌト思ヒマス、ソレカラ昨日カラノ菅原君ノ御話デハ自由競争ノ結果仕方
ガナイ、段々臺灣ノ砂糖ガ發達シテ内地ノ需用ヲ充タスニ餘リアルホド出來、人文ノ進
ムニ從ッテ惡イ砂糖ハ段々用井ナクナッテ善イ砂糖ヲ用ユルヤウニナリ、惡イ砂糖ハ需用ガ
減ッテ相場モ下リ、サウシテ段々廢滅ニ歸スルト云フコトハ仕方ガナイト見ルト云フヤウナ
御考デアツト思ヒマス、所ガ砂糖バカリデナシニ他ノ事ニ付テ、山本君カラモ伺ッタルノデ
スガ、鹽ノ如キ臺灣關東州ナドハ出來ル鹽ヲ無制限ニ造ラシテ内地ニ輸入スルト、内
地ノ鹽ヲ造ル者ハ忽チ困窮ニ陥ルト云フコトハ親易イコトデアル、ソレデ輸入ニ制限ヲ
加ヘテ、サウシテ内地ノ製鹽業者ヲ保護シテ居ルト云フコトモアル、ダカラサウ云フ意味
デ幾分カ内地ノ者が成立ッテ行クヤウニスルト云フコトハ、製作上必要デハナイカト云フ
コトモ伺ッタルデアリマス、大島沖繩ノ如キハ所ニ依ルト砂糖ヲ造ルヨリ仕方ガナイ、砂糖
ヲ作ラナケレバ甘諸ヨリ外ニハナイ、何十万ノ人間ガ生活ノ道ヲ失フト云フ有様デアル、
四國ナド殊ニ私ノ郷里ノ讃岐ナドノ方ハ、砂糖ガ盛ンデアツタ時分ニ米ヲ四分ニ砂糖六
分位ニ作ッテ居タ、サウシテ御承知ノ通り四國地方ハ池ノ多イ所デ、溜池ヲ掘ルノニ
其積リテ水ノ分量ヲ計ッテ居ル、勿論米ヲ作ル方ニハ水ガ多ク要リ、砂糖ノ方ハ多ク水
ハ要ラヌノデス、ソレデ米ガ四分砂糖ガ六分ト云フコトニナッテ居リマスカラ、段々砂糖ガ

止ンデ米バカリ作ルト云フコトニナルト、溜池ヲ掘リ直サナケレバナラヌ、郡ニ依ッテ資本
ノ強イ處ハ農工銀行カラ金ヲ借りタリシテ、溜池ヲ掘リ直シテ砂糖ヲ止メタケレドモ、處
ニ依ルト資力ガナクテ砂糖ヲ作ッテ居ル、極ク惡イ處デサウシテ水ノ少ナイ所トカ畑トカ、
斯ウ云フ所ハ砂糖ヲ作ッテ居ル、昔ノヤウニ砂糖ヲ六分米ヲ四分ト云フ風ニ返スト云フ
コトハ勿論希望セヌシ、又不可能デアルト思ヒマスケレドモ、今日マデ作ッテ居ル水ノ極
ク少ナイ所デ、已ムヲ得ヌ所ニ砂糖ヲ作ルト云フダケノコトハ潰サヌヤウニシテヤリタイト思
ヒマス、今ノ儘デ白下ヲ三圓ニシテ飽クマデヤッテ行クト云フコトニナルト、白下ハドウシテ
モ潰レルト思ヒマス、昨日政府ノ方ニ此處デハナカッタガ伺ッタルデスガ、才前ノヤウニ言フ
ケレドモ白下ハ段々下ルト云フガ——段々衰ヘルト云フケレドモ近頃ノ統計ヲ見ルト衰ヘ
テハ居ナイデヤナイカト云フ話ガアリマシタガ、ソレニ付テ是ハチヨット偶然ノ事情デアルケ
レドモ、御參考ノタメニ申上ゲテ置カナケレバナラヌハ、一昨年ノ議會ニ中川君ヨリ
白下ノ黒糖ヲ一圓ニスルト云フコトヲ出シマシタガ、衆議院デハ一圓ハ下過ギルト云フノ
デ二圓ニ直シテ、サウシテ衆議院ヲ通過シテ貴族院ニ行キマス、白下ヲ下ゲヌデ黒糖
ダケヲ二圓ニスルト云フコトニナッタ、ソレガタメニ兩院協議會ヲ開イタ、其時分ニ私モ
行ッテ白下ト黒糖トハ一緒ニシテ貫ハナケレバナラヌト云フ理由ヲ能ク述ベマシタガ、貴族
院ノ人ハ砂糖ノ性質カラ考ヘタノデハナイ、政府ノ財源ニ困ルカラ——一遍ニ減スト財
源ニ困ルカラ、今年ハ黒糖ダケ減シテ置イテ來年ハ白下ヲヤツタラ宜カラウト云フコトデ、
衆議院ニ折返ッテ來タルデス、サウ云フ風ニ兩院協議會マデ開クヤウニナッタカラ何レ白
下ハ下ルモノト百姓ハ見テ居ル、ソレカラ其中ニ總理大臣ニ會ヒマス、コチカラハ御
話ハシマセヌガ、總理大臣カラ御話ガアツテ、二十五議會デハ少シ失敗シタコトガアツタ、
黒糖ト白下ト稅ヲ別ニシタト云フコトハ困ラシイカラ、ドウカ救ッテヤラナケレバナラヌト
云フ御話ガアツタ、ソコデ其話ガアツタト云フコトモ話シテ置イタルデアリマス、ソレデハ來
年カラハ下ゲテ吳レルト云フノデ、一昨年カラ昨年ニカケテ大變種黍ヲ多ク作ッテ、サウシ
テ砂糖ガ澤山ニ出來タルデアリマス、何時モサウ云フ譯デ白下ハ下ケラレルト云フ希
望デ造ッテ居ルノデアリマスガ、ソレガドウシテモ下ラヌト云フコトニ確定シマセラバ、砂糖業
者ノ白下ヲ造ルコトハ無クナッテシマフト思フ、無クナラヌニシテモ多クハ造ラヌ、少シツ
ツ自分デ使フ位ノ砂糖シカ造ラヌ、今マデノヤウニ大阪ニ出シテ賣ルヤウナ砂糖ハ出來ナ
イト云フコトハ私ハ狂テ言フノデハナイ、實サウデアラウト思ヒマス、昨年一昨年ハマル
キリ變調デアラウト思ヒマス、故ニ今言フ砂糖ノ稅カラ言フト四十七錢ノ差ガアツテ、相
當デアラウト思ヒマス、百姓ノ收入カラ考ヘルト、却テ白下ノ方ハ少ナイノデアリマスカラ、
幾ラカ製作ヲ加味シテ一圓位下ゲルコトハ無理デハナイト思フノデアリマス、ソレカラ稅ヲ
白下ノ形ニシテ外ノ砂糖ノ稅ヲ免カレルト云フコトガ起リハセヌカト云フコトデアリマシタ
ガ、ソレハ先刻カラ議論シテ居ル問題デアリマスガ、私共ハサウ云フコトハナイト思ヒマス、
是マデハアツタカモ知レマセヌガ、是カラ先キ殊ニ關稅定率法ノ實施後、戻稅ノ制度ガ
無クナリマスレバ從テ無クナルト思フ、白下ヨリモ良イモノヲ持ッテ來テ白下ニ作り直スト
云フコトハナイト思ヒマス、唯白下ノ惡イモノヲ持ッテ來テ白下ニスルトカ、或ハ白下ノ生
産地ニ依ッテ種類ガ違ヒマスカラ、惡イ白下ヲ持ッテ來テ良イ白下ニスルトカ、飴ヲ混セ
テ白下ノ色ヲ著ケルトカ云フコトハスルカモ知レマセヌガ、稅ヲ免レテ白下ヲ造リ直スト云

フコトハナイト思ヒマス、其意味一圓位ノ稅ヲ下ゲテ、今マデ作テ居ル砂糖が發達セヌニシテモ、ヤツト成立テ行ク位ニハシタイト云フ考デ、此法律案ヲ提出シタノデアリマス、政府トシテ菅原君ノ言ハレタヤウニ自由競争ニ任セテ、廢減ニ歸スルノハ致方ガナイト云フヤウニ見テ居ラレナラバ別デアリマスケレドモ、今マデヤツテ居ル百姓ノ幾分カ保護シテ、相當ノ生活ヲ立テ、行カレルヤウニシテヤラウト云フ御考ナラバ無理ナコトハナイト思ヒマスガ、政府ノ御意見ヲ伺ヒタイ

○政府委員(若槻禮次郎君) 黒砂糖並ニ白下糖ノ課稅ノ問題ハ唯今委員長が御述ベニナル如ク、一昨年既ニ餘程議論ニナツタ問題デアアルノデス、當時政府デハ到底此稅ト云フモノハ、其當時ノ法律通りニ置ク譯ニ行カヌヤウデアアル、ソレハ黒砂糖ニ付テノミデアリマセヌ、モツト製造ノ程度ノ進シタ砂糖、赤砂糖或ハ白砂糖ニ付テモ當時ノ稅デハ少シク實際ニ應ゼヌヤウデアアルガ、ドウモ是ハ整理ヲ要スル問題デアルト思フカラ、其時ノ問題ハ是ハ議ッタ方ガ宜カラウト云フノデ、其時政府デハ單ニ黒砂糖ト白下ノ稅ヲ低減セラル、コトニナツタノデアアル、ソレハ事實デアアル、殊ニ稅率ノ不權衡ニナルノミナラズ、何デモ當時ノ計算ニ依レバ、六十何万圓カ歳入ガ減ルト云フコトデアッタモノデカラ、國ノ定テ居ル稅ヲ増シテ財政ノ上カラ論ズルト云フコトハ、出來マセヌコトニナルノデカラ、ソレハ宜カナイト云フコトハ其通りデアアル、併ナガラ衆議院モ貴族院モ黒砂糖ニ付テハ稅率ヲ低減セラル、ト云フコトハ事實デアアル、其時カラ政府ハ砂糖稅ニ付テ、極ク權衡ヲ得ルヤウニシテ行カナケレバナラヌト云フ考ヲ有ツテ居ツタ、所ガ一年早ク黒砂糖ニ付テ稅ヲ低減セラレタノデアリマスガ、ソレヲ再ビ元ノ稅ニ戻スト云フコトハ出來ナイノデアリマスカラ、黒砂糖二圓ニ低減シタ以上ハ、黒砂糖二圓ト云フノ一ツ頭ニ置イテ、サウシテ砂糖ノ稅率ヲ整理シナケレバナラヌト云フコトヲ考ヘタ、其理由ヲ以テ砂糖消費稅ノ稅率ノ改正ヲ爲シテ、其結果トシテ提出シタモノガ昨年ノ砂糖稅改正案デアアル、其時ニ白下糖ト云フモノガ其前年ニ於テ既ニ黒砂糖ト同様ノ稅ニスルガ相當ナリト云フ衆議院ノ意見デアッタ、衆議院ガサウ云フ意見デアッタ以上、果シテサウニ云フモノガアルヤ否ヤト云フコトハ、餘程大藏省デハ講究シタ、私共ハ寧ロ議院モサウ云フノデカラドウモ整理スル位ナラバ白下モ黒砂糖ト同様ニシタラ宜イデヤナイカト云フ議論モ唱ヘル位ニシテ、稅率ナリ整理ノトキニ大藏省ノ中デハ論究モシテ見タノデアリマシタガ、段々技術者ノ調査ニ依ルト、白下ト云フモノハ決シテ其當時私ガ想像スルヤウナ惡イモノデハナイト、自分ハ蜜ト同シヤウナ想像ヲ持ッテ居タカラ、サウ云フモノナラバ無論黒砂糖ト同様ニシタラ宜イデヤナイカト云フ議論デアモ唱ヘル位大藏省デハヤツタ、併シ技術者ノ調べニ依ルトサウ云フモノデナイ、場合ニ依ルト赤砂糖ノ惡イモノヨリ一層良イモノガ出來テ居ルノデカラ、其白下ト云フモノハ黒砂糖ト同様ナ率ニ置クト云フナラバ、實ニ其上ニ外ノ砂糖ト權衡ヲ得ナイ、斯ウ云フ議論ガ技術家ノ調査ノ結果ニ依ッテ出タノデアアル、政府デハドウモソレナラバト云フノデ、雙方ノ品質ニ應ジテ稅率ヲ異ニスルト云フ主義ヲ採ツタ、品質ニ應ズルト云フ主義ヲ止メテ稅ヲ定メルト云フコトハ別物デアアル、ソレデ今日ノ稅法ノ下ニ於テハ黒糖ト白砂糖ト云フモノハ違フ、サウシテ其中ニハ異ナル品質ノ程度ガアルト、斯ウ云ウテ事實ノ上カラ證明スル以上ハ、是ハ法律ヲ制定スルニ於テ事實ヲ否認スル譯ニイカヌ、然ラバ已ムヲ得ヌカラソレニ依テ稅率ヲ定メタラ宜カラウ、ヤハリ白下糖ト云フモノハ

第四種ノ砂糖ト同様ナ稅率ヲ定メルノガ相當デアルト云フノ事實ハ出シタノデアアルガ、白下ノ稅ノ問題ト云フモノハ一昨年論究セラレタノデアアルカラ、イロ／＼研究セラレタ案ノ通り、後ニ於テ砂糖ノ全體ノ稅率ヲ整理スルト云フコトデ、昨年ヤツタノデアリマスガ、若シ其稅ガ善イトカ惡イトカ云フコトデアレバ、此際ニ於テ考ヘナケレバナラヌ問題デアアル、大藏省ノ中デハ唯今申上ゲル如ク私ハ大ニ論ジタ、論ジタ上ニ衆議院ニ於テ是デハイケヌカラ白砂糖モ二圓ニ減シヤウト云フ御議論デアッタ、サウ云フ論モアッタガ遂ニヤハリ黒糖ト白下トノ間ニ差等ヲ設ケル方ガ宜イ、一圓ノ稅率ノ等差ガアルガ宜カラウト云フコトニ今日ナツタノデアリマス、斯ウ云フヤウナコトデアリマスノデ白下糖ハ、ソレカラ黒糖トノ稅率ハ大藏省デハ全然品物ノ如何ニ依ルト云フ考デアリマス、品質ガ黒糖ト同様ナモノデアアル、同率ニ近イモノデアアル、其白下ト云フ名前ガ出テ居ルカラ是ハ稅率ヲ上ゲナケレバナラヌト云フ議論ヲ説クモノモアッタガ、物ガ餘程差ガアル、等差ガアル、違ガアル以上ハ、今日ノ稅法ノ下ニ於テハ違ノアル稅率ヲ課スルト云フコトニナツテ居リマスルカラ、之ニ基イテ稅率ヲ上ゲルヨリ外ハナイ、ソレカラ今ノ御計算ニナルコロノ價ノ方ノ問題ニ至レバ、是ハイロ／＼ナ見方ガアルデアラウト思ヒマスガ、價ノ方ハ必ズ生産費ニ伴フコト云フコトハ、是ハ外ノ品物ニ付テハ勿論、砂糖ニ付テモ御計算ガ間違ッテ居ルトハ申サヌガ、サウ云フ御議論ガ立ツニ相違ナイケレドモ、計算ヲ立テ、其計算ニ基イテ稅率ヲ上ゲルト云フヤウナヤリ方ラスレバ、日本ノ地ニ於テモ適シテ居ル砂糖ト適シテ居ナイ砂糖トハ大變生産費ガ違フ、サウ云フ場合ニ如何ニスルカト云フ此處ニ非常ナ困難ナ問題ガ生ズルノデゴザイマス、稅率ヲ拵ヘルトキニ無論生産費ト云フモノヲ見ナケレバナラヌガ、全國一樣ニ同稅ヲ適用スベキモノニナルト、詰リ最後ノ問題ハ品質ニ依ルトデアアル、品質ガ違ッテ居ナイト云フコトニナレバ、是ハ稅率ヲ同様ニシテ宜シイト云フコトニナルガ、品質ガ違ッテ居ルト云フコトニナリマス、今日ノ稅法ノ立方デヤルトナレバ、稅率ヲ改正スルコトハ出來ナイ、要スルニ私共ノ考ヘ其一二アル、而シテ今日ソレ以上ニ附加ヘテ言ヘバ、菅原政府委員ガ述ベマシタ如ク財政計畫ヲ定メタ後ニ、歳入ガ幾分ナリトモ減ズルト云フコトハ甚ダ難義デアリマス、如何ニモ同ジモノニ一樣ノ稅率ガ出來テ居ルト云フナラバ——甚ダシイ財政ノ上ニ影響ヲ及ボサヌコトニナレバ、成ベク整理シタイト云フコトハ無論デアリマスガ、今ノ問題ニ付テモ考ヘナケレバナラヌト云フコトハ勿論デアリマスケレドモ、併シ一方ニ等差ガアルト云フコトガ確カデモ、今ノ財政上問題ガドウナツテ來ルカト云フコトデアルトスレバ、ドウモ現在ノ出來タモノヲ以テ其儘進ム外ハナイト思ヒマス、斯ウ云フ大體ノ考ニナツテ居リマス

○山本悌二郎君 幸ヒ大藏次官ガ御出ニナツテ居ルカラ、私チヨット御伺ヒシタイノデガ、唯今マデ委員會ノ模様ヲ見マスルト、御尋ヲナサル方モ亦之ニ御答ナサル政府委員ノ側カラモ、共ニ皆今日ノ課稅上ノ見地カラノミ問答セラレテアルヤウデスガ、私ハ少シ方面ヲ變ヘテ考ヘテ見テ貰ヒタイ、同時ニソレニ對シテ御答ヲ得タイト思フノデアリマス、ソレハ外デアリマセヌガ、一體此四國九州邊ノ砂糖ノ產額ト云フモノガ年ヲ逐フテ減少シ來タト云フコトハ、確ニ是ハ事實デアアル、此數年來ノコトハ知リマセヌケレドモ、十數年前カラノ統計ニ依ッテ調べ見レバ著シク產額ガ減ッテ居ルト云フコトハ、確ニ事實デアアル、此產額ノ減少、此地方ニ於ケル砂糖業ノ衰退ト云フコトハ其原因何レニ在リ

ヤト云ヘバ、ソレハ臺灣ナドノ方デ特別ニ厚イ保護ヲシタ結果デアルトカ、不公平ノ事ガ
アツタトカ云フ種々ノ説モ耳ニスルヤウデゴザイマスケレドモ、成程新領土ノ糖業ニ向ッテ
保護ヲ加ヘタト云フコトモ、内地ノ糖業ノタメニハ少クモ利益ニハナラナカッタラウト思ハ
レマスケレドモ、私共ノ考デハ大體内地ノ砂糖業ノ産額ガ減ッタト云フコトハ、必ズシモ
其原因ヲ一ニツレ等ノ邊ニノミ求ムベキモノデナイノデ、大勢ノ上カラ氣候風土ノ優秀ナ
ル所ガ、優勝劣敗ノ上ニ勝ツノデアルカラ、即チ此臺灣ノ如キ産糖地ガ新ニ我領土ニ
入ッテ結果トシテ、今日マデモ確カニ優秀ナル風土氣候ノ結果トシテ彼方ガ勝チ、而シ
テ内地ガ敗ヲ取ッタト云フコトニ歸著シタノデアラウト思フ、今後此保護ガ全廢サレタ
種ノ保護ハ、最早大部分ハ過ギテシマッテ居リマスケレドモ、今後此保護ガ全廢サレタ
曉ニ於テ、然ラバ内地ノ糖業ガ優ニ之ト相拮抗シテ走ッテ行クコトガ出來ルカト云フト、
ヤハリハ出來ヌト思フ、ト云フノハ元來其原因ト云フモノガ單ニ人爲ノ原因ノミニ
非ズシテ、天然ノ條件ニ基クコロノ優勝劣敗ノ結果デアルカラ、臺灣ニ於ケル大ナル
所ノ保護獎勵ガ撤回サレタ曉ニ於テモ、内地ノ糖業ト云フモノハ此儘ニシテ於テハ、到
底相竝シテ行クコトハ出來ナイモノト私ハ思フ、ソコデ一ツ問題ニナルノデスガ、若シサウ
デアルトスレバ之ヲ全然自由競争ニ放任シテ置イテ宜シイカ、放任シテ置ケバ其結果ト
云フモノハ無論内地ノ糖業ハ年ヲ逐ウテ衰退シテ行ッテ、之ニ從事シテ居ルトコロノモノ
ハ、其方面ニ向ッテハ職ヲ失ハナケレバナラヌト云フコトニナルデアラウト思フ、所デ私ハ昨日
モ申シマシタノデスガ、鹽ナドノ事ヲ見マスルト、今日ノ專賣局ノ遣リ方、政府ノ遣リ方
ト云フモノハ、若シ此職業ノ保護ト云フ見地ヲ離レテ見タナラバ、實ニ是程矛盾シタ無
意味ナ事ハナイト思フ、何故ナレバ關東州ナリ、或ハ臺灣ト云フモノハ非常ニ廉價ノ鹽ガ
出來ル、之ヲ廉價ノ專賣局デ買上ゲテ賣出スト云フコトニナレバ、國民全體ハ非常ニ廉價
ノ鹽ヲ當メルコトガ出來ル、而シテ專賣局ノ鹽モ減少スルコトナクシテ、兩ナガラ宜シ、然
ルニモ拘ハラズ、此方面ニ向ッテハ一種ノ移入ノ制限ヲ設ケテ居ル、聞クトコロニ依レバ北
海道樺太方面ニ於テ臺灣ノ鹽ガ彼處デ賣レルト云フコトニナルト、專賣局ノ方デハ手廻
シテツレバ賣ッテ貰ッテハ困ルカラ、今年ハ差控ヘテ貰ヒタイト云フヤウナ交渉スラアルト
云フコトモ聞イテ居ル、是ハ則チ一方ニ於テハ確ニ廉價ノ鹽ヲ國民ニ當メサセルコトガ出來
ルニモ拘ハラズ、ツレバ敢デモズシテ、サウシテ高イ内地ノ鹽ヲ買ウテ賣ルコトニナッテ居ル、
カラ單ニ計算ノ上カラシテノミ見レバ誠ニ無意味ナヤウニ見エル、見エルドコロデナイ、頗
ル宜シクナイ政策ノヤウニ見エルガ、是ハ又職業ノ保護ト云フ上カラ見レバ決シテ無理ナ
ラヌヤウニモ思フ、若シ關東州、臺灣ノ鹽ヲ自由ニ内地ニ入ッテ來ルコトガ出來ルヤウニシ
テ、專賣局ハ一番品質ガ良クシテ而シテ價格ガ低廉ナルモノヲ買フト云フ原則ニ依ッテ、
之ヲ實行シテ行クコトニナリマシタナラバ、内地ノ鹽業ノ大部分ハ殆ド立タナクナル、デ百
年乃至百數年以來ヤッテ居ルトコロノ民業ヲ、俄ニ廢滅ニ歸セシムルコトハ宜シクナイト
云フ經濟上ノ見地カラ、恐クハ斯ウ云フ様ナ政策ヲ政府デ執ッテ居ラル、モノト、其點
ニ向ッテハ私モ決シテ無理ナラヌコト、思フテ居ル、然ラバ此砂糖ノ點ニ於テモヤハリ此經
濟上ノ政策ヲ及ボシテ行クコトガ出來ナイモノデアラウカ、サウ云フ考ガ政府ニナカラウカ、
要スルニ此儘ニシテ置ケバ臺灣ナドハ保護ヲ受ケル受ケナイニ拘ハラズ、内地ノ糖業ト云フ
モノハ必ズ衰退シテ行クニ相違ナイノデアアル、故ニ最早年久シク砂糖ヲ耕作シ、砂糖ヲ

製造シテ居ッテ、之ニ依ッテ自己ノ生計ノ道ヲ立テ、居ル所ノ多數ノ農民ナリ、砂糖製
造家ナリト云フモノ、タメニ、茲ニ職業保護ノ意味ヲ以テ、民業保護ノ意味ヲ以テ、課
稅上ノ率ヲ輕減スルト云フヤウナコトハ、是ハ決シテ無理デナイトコロノ政策デ、私ドモ
是ハ却テ課稅上カラ見マシタラドウカ知ラヌ、稅ト云フモノダケノ見地カラ見マシタラドウ
カ知ラヌガ、全體ノ經濟政策トシテハ然アルノガ相當デアラウト思フ、斯様ナル見地ノ下
ニ斯様ナル見解ノ下ニ、稅率ノ輕減ヲスルト云フコトニ就テ、政府ハ御考ガナイカドウカ
○政府委員(若槻禮次郎君) 砂糖ノ問題ハ實ハ非常ニムツカシイ問題デス、本統ニ
言ヒマス 大體言ヒマス、明治三十二年ノ頃マデノ現狀デ言ヘバ、外國カラ
入ッテ來ル砂糖ノタメニ臺灣ノ砂糖ト云ッタトコロガ其當時ハ僅カノモノデアッタデアリマ
スカラ、沖繩ナリ、大島ナリ、或ハ四國ナリノ砂糖ト云フモノハ餘程壓セラレテ居ッタト
云フコトハ事實デアリマス、又段々進ンデ壓セラレ、傾向ノアツタト云フコトモ事實デアル、
臺灣ト雖モ何等ノコトガナカッタナラバ到底外國糖ニ對抗シテ、彼處デ砂糖ヲ起スト
云フコトハ出來ハセヌ、ツレバ現ニ其當時デモ砂糖ノ輸入高ガ金高ニシテ二千萬圓カラ
ノモノガ日本ハ外國カラ入ッテ居ッタト云フコトデアルカラ、年々日本ノ正貨ヲ二千萬圓
カラ砂糖ノタメニ外國ニ出サナケレバナラナカッタト云フ狀況デアルノデゴザイマス、ツレバ政
府ノ方デハ兎ニ角臺灣ト云フ處ガ世界中一番砂糖ニ適シタ土地ト云フコトハ到底言ハ
レナイ、モット適當ナ土地ハアルケレドモ、兎ニ角臺灣ガ砂糖ガ出來ルノデアアル、ツレカラ
沖繩大島ト云フモノハ丁度今委員長並ニ山本君ガ言ハレル如ク、古來砂糖ノ產地デ、
若シ砂糖ヲ作ルコトガ出來ヌト云フコトニナリマシタナラバ、芋ヲ産シタ所デ、其價タルヤ
砂糖ノ何分ノ一ホカナイモノニナッテ、兎ニ角アノ人口ノ多イ島嶼ノ人民ガ砂糖ガ出來
ヌト云フコトニナッタラ非常ニ困ルコトデアルト云フコトハ誠ニ分リ切ッタ話デアル、ツレバ
政府ノ方デハ兎ニ角現在砂糖ヲ作ッテ居ッテ、而モ砂糖ガ出來ナクナルト云フコトニナル
ト、非常ニ其土地ノ興廢問題ト云ウテモ宜イ位ノ地方ガ日本ノ中ニアリ、ツレカラ又兎
ニ角砂糖ヲ作レバ出來ル氣候ト地味トヲ持ッテ居ル臺灣ト云フモノガ、新タ日本ノ領土
ニナッタ以上ハ、外國カラ二千萬圓以上ノ輸入ガアルノニ、内地ノ砂糖ガ出來ルヤウニナレ
バ自然外國ノ供給ヲ受ケズシテ濟ムヤウニナリ、之ニ依ッテ内地ノ産業ヲ起スト同時ニ、
一方ニハ正貨ノ輸出ヲ防止スルト云フコトガ出來タナラバ、國家經濟ノ上ニ至極望ムベ
キコト、言ハナケレバナラヌト云フ考ヲ持チマシテ、ソコデ關稅ヲ制定スルニ付テモ、常ニ
其頭ヲ以テ制定シ、内地ノ消費稅ヲ制定スルニ付テモ、其消費稅率ノ砂糖等ヲ案ズ
ル場合ニハ、常ニ此頭ヲ持ッテヤリ、サウシテ其間臺灣ニ於テハ獎勵費ヲ加ヘテ保護セラ
レ、内地ニ於テモ大島或ハ沖繩ニ對シマシテモ、砂糖ノ獎勵金ヲ政府ガ支出スルト云
フヤウナコト進ンデ來タ中ニ、臺灣ノ方ガ兎ニ角政府ノ保護ガ大キカッタデアリマス
ラ、幸ニ今山本君ノ言ハレル通り作レバ出來ル土地デアアル、故ニ段々發達シテ來ルヤウニナッ
言ヘマスマイケレドモ、兎ニ角作レバ出來ル所デアアル、故ニ段々發達シテ來ルヤウニナッ
來タ、今日マデノトコロハ實ハ外國糖ニ對シテ、内地ノ砂糖ヲドウスルカト云フ問題デ進ンデ
來タデアリマス、其問題ニ付テハ殆ド今ヤ其目的ヲ達スルヤウニナリマシタカラ、是カラ
先キハ丁度山本君ガ言ハレルヤウニ、今度ハ日本ノ領土内ニ於ケル砂糖ノ問題ヲ自然
ニ任セルカ、或ハ能ク考ヘテ行カナケレバナラヌカト云フ問題ガ起ッタト云フコトハ事實デ

アリマス、ソレハ此關係ニ於テハ、臺灣ニ於テ砂糖が非常ニ製造セラレ、ソレカラ内地ニ於テ砂糖ヲ精製スル會社が大ナル資本ヲ持ッテ既ニ成立ッテ居ル、ソレハ一方ニ於キマシテハ大島沖繩ト云フヤウナ砂糖ヲ生産スルニアラザレバ、有利ナル今チヨット代リノモノガ見付ケ得ラヌト云フヤウナ一地方ガ存シテ居ル場合ニ——或ハ今度朝鮮ニ於テ甜菜糖ト云フモノヲ作ッテ、砂糖ヲ作ルト云フ計畫ヲシテ、或ハ之ガ有利ニ行キ得ルト云フコトガアルカモ知レヌ、サウ云フコトガアルト、是トノ關係ハ如何ニナルカ、是非非常ニ錯綜シタ問題ニナルノデス、ソレ故コ、ハ丁度山本君ノ言ハル、如ク、生活問題トシテ、政策問題トシテ、此砂糖ノコトハ餘程考ヘナケレバナラヌ問題デハナイカト云フコトハ、吾々ノ見ルトコロモ違フトコロハナイノデアリマス、現ニ臺灣ニ製造スル砂糖ト、内地ニ精製スル砂糖トノ關係ノ如キハ政府デモ餘程注意ヲシテ、此兩方トモ共ニ進ミ得ルヤウニ行カシメタイト云フコトヲ、今考ヘテヤリツ、アルノデアリマスガ、是ト同時ニ國內同シ領内トハ云ヒナガラ、臺灣ノ砂糖ノタメニ沖繩島ト云フヤウナ地方ガ壓倒サレシマフヤウナ狀況ニナルト云フコトハ、甚ダ好マヌコトデ、今日マデハ未ダ其處ニ至ッテ居ラヌガ、此上更ニ進ンテ行ッタナラバ、ドウ云フ現象ガ生ズルカ、是非餘程考慮シナケレバナラヌ問題デアルト云フコトハ、吾々モ夙ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、外糖ニ對シテ內國糖ヲ以テ段々優勝ノ地位ヲ占メルヤウニナッテ來タト云フ現象ハ、政府ガ目的トシタ通りニ進ンデ參リマシタカラ、此點ニ於テハ寧ロ是マデ取ッテ居タ政策ガ追々成效シテ行クノデアルト思ッテ居ルデスガ、偕其後ハ自然ニ任セテ置イテ宜イカ、或ハ同シ內國糖ノ間ニ於テ、又其調節ヲ圖ルト云フ手段ヲ講ジナケレバナラヌカ、是非餘程考慮スベキ問題デアラウト思フノデアリマス、是ハモウ何處ノ國ニモアルコトデ、例ヘバ佛蘭西ナドデモ鹽ノ問題ニ付テ、地中海鹽ノ方ト大西洋岸ノ鹽ト較ベルト、地中海ノ鹽ノ方ガ同シ製造スルニ大變便利デアルトカ、ソレニ又國內鹽井ガ非常ニ澤山アル、此地中海鹽ト、大西洋岸ノ鹽ト井鹽ト之ヲ自然ニ任セテ置クカ、或ハドウ節調ヲ圖ルカト云フコトハ、ナカ／＼ムツカシイ問題デ、アチラモ委員會ヲ設ケタリ、何カシテ此間ノ調和ヲ研究シテ居ルト同シヤウニ、日本ニ於テモ國內ノ砂糖ニ付テイロ／＼ナル利害關係ガアルノデスカラ、是非大ニ考慮ヲ加ヘナケレバナラヌコトハ、山本君ノ言ハレタ通りデアリマス、唯此砂糖ニ付テ事實等ヲ行ッタノデアリマセヌカラ、政府ノ手デモウ勝手ニ此砂糖ハ此以上作ラセヌト云フヤウナコトハ出來ヌノデアリマス、ソレハ又別ノ問題ニナリマスガ、要スルニ砂糖ニ於テ大體ニ於テ能ク考ヘナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ山本君ノ御説ノ通り吾々モ同感デアリマスガ、白下糖ヲ造ル稅率ヲ下ケルト云フコトハ其目的ニ適フモノデアアル、之ヲ下ケサヘスレバ臺灣糖ヲ防ギ、内地ノ砂糖ガ行ケルト云フナラバ、私ハサウハ思ハヌ、琉球ナドハ白下糖ヲ此節造リマス、寧ロ黑糖ヨリ白下糖ニシテ方宜イト云ウテ獎勵シテ居ルト云フ事實モ生ジテ居ル、琉球ノ如キモ事實ヲ云フタナラバ白下糖デナク、所謂分密糖ノヤウナモノニ直チニ行ッテ、臺灣ノ同シ狀態ニナッテ、琉球ト臺灣ト云フモノハ大ナル違ヒハナイト思フ、砂糖ノ生産ニ付テ唯場所ノ廣狹ト云フコトハ或ハアルカ知ラヌケレドモ、氣候ノ關係ナドニ於テモ琉球ガ非常ニ劣ッテ居ッテ、臺灣ハ非常ニ勝レルモノデモナイ、ソレ故ニ或ハヤリ方如何ニ依ッテハ、白下糖ヲ獎勵スルト云フ方法ヲ行ク方宜イノカ、或ハ分密糖ニ直チニ行ク方宜イカ、是非問題ト思フ、是非大ニ攻究シテ結論ヲ得テ居リマセヌカラ、斯

ウデアリマスト斷言ハシマセヌガ、ナカ／＼問題デアラウト思フ、併ナガラ今日ノ現狀ニ於テ琉球ノ白下糖ハ黑糖ノ生産高ニ對シテハ、誠ニ產額ハ少ナイモノデアッテ、此白下糖ノ稅率ヲ下ケタカラト云ウテ臺灣ト内地ノ關係ヲコ、デ雙方ノ生産ヲ共ニ成立セシメテ行ク狀況ニナルヤ否ヤト云フコトハ、是ハ是ノミデハ未ダ疑ヲ持ッテ居ル、然ラバ如何ニシテ宜イト云フ場合ノ意見ヲ持ッテ居ルカト云フコトハ、ソレハモウ自白シテ申セバソコマデハ今日申上ケラヌ、併シ此砂糖ノ點ハ政府ニ於テモ、當業者ニ於テモ、地方ニ於テモ皆十分考慮シナケレバナラヌ問題デアルト云フコトハ了解シテ居ルノデアリマス、ソコデ其問題ハ十分攻究シナケレバナリマセヌガ、ソレト同時ニコ、デ如何ナルモノデモ今生産ヲシテ居ルモノハ、一步モ之ヲ退カヌヤウニ各地ノ產業ヲ今ノヤウニ、稅率ナリ或ハ政府ノ保護ナリニ依ッテ保ツ必要ガアルカト云フコトハ、ソレハ私ハムツカシイト思フ、大體ノモノハ助ケテ行カナケレバナラヌガ、併ナガラ如何ニモ優勝劣敗、到底爭フコトノ出來ヌヤウナトコロニマデ之ヲ助ケテ行カウトシテヤッテ見タノデアルガ、政府ノ力デモ到底行フコトガ出來ナイ、ソコデ白下ト云フモノハ今ノ形ニ於テ助ケテ行クト云フ見方デ、何カ殖民地ト内地トノ關稅ト云フヤウナモノヲ設ケルカ、或ハ政府デ心配スルト云フヤウニシテ白下糖ヲ助ケルヤウニスルカト云フコトハ、是ハ誠ニ僅ナル一部分デアアル、白下糖ニ付テサウ云フヤウナコトヲ爲スノハドウアラウカト思フノデアリマス、ソレハ大體ニ於テ砂糖ニアラザレバ生活ガ出來ヌト云フ地方ガアル、是ガ全然砂糖ガ出來ヌト云フヤウナコトガアッテハナラヌト云フコトハ、政府トシテモ其地方トシテモ十分考ヘナケレバナラヌノデアリマスガ、白下糖ト云フモノヲ以テソレナリト云フコトハ出來ルカ、私ハ其處マデ白下糖ノ地位ハ行ッテ居ナイト思フノデアリマス、ソコデ白下糖ニ對スル稅率ノ問題ハ品質ノ問題デアアル、品質ガ黑糖ト似寄ッテ居ルト云フナラバ、稅率ヲ同シスルノハ異議ヲ申ス問題デハナイガ、併シ明ニ品質ハ違ッテ居ル、黑砂糖ト赤砂糖ト差ガアルト同シデアルト云フナラバ、等差ヲ置クト云フコトハ當然デアッテ、之ヲ一様ニスルノハ不公平デハナイカト云フコトハ、根本ニ於テハアナタトサウ論ヲ異ニシテ居ルノデアリマセヌガ、方法ニ至ッテハ或ハ一致シテ居ラヌカト思ヒマス

○山本第二郎君 ソレニ付テモウ一ツ御尋シタイノデスガ、大體古來カラノ產業ヲ俄ニ廢滅ニ歸セシメナイヤウニ、方針ヲ執ッテ行クト云フコトノ必要ナコトモ、又特ニ砂糖ト云フモノニ付テ、各地方ノ調和ヲ取ッテ行クト云フコトモ、將來必要ニナッテ來ツ、アルト云フコトハ、一ツナガラ政府ニ於テモ唯今ノ御説明ニ依ルト認メテ居ラレバ、唯問題ハ白下ト云フモノハ稅率ノ關係ニ依ッテ何處マデモ維持シテ行ク必要アリヤ否ヤト云フ問題デアリマスガ、若シ果シテ讚岐ナリ、阿波ナリ、其他四國九州等ノ古來カラノ砂糖ヲ産シテ居タ處ニ、餘リ甚シキ衰退ヲ來サナイヤウニシテ行カウト云フコトニ付テハ、其土地デ特ニ產スルトコロノ而シテ外デ眞似ノ出來ナイトコロノ物ヲ何處マデモ守立デ、ヤラヌケレバ、其目的ハ達スルコトハ出來ヌノデアアル、果シテ斯ノ如ク臺灣デ出來ル砂糖ヲ四國ヤ九州デ作レト云ッテモ困難デアラウシ、無理ニ之ヲ作ラウトスレバ、無論生産費ヤ其他ノ點ニ於テ臺灣ニ拮抗スルコトガ出來ナイノハ明カデアアル、所ガ斯ノ如キモノガ四國九州ノ特產物デアッテ、之ヲ臺灣デ作レト云ッテモ作レナイ、故ニ四國九州ノ砂糖ト云フモノヲ或程度マデハ守立デ、行カウ、臺灣ニ於テハ是ニ多少ノ保護ヲ加ヘテ、民業ニサシテ、

努メテ行カナケレバナラヌト云フ考デアレバ、外ニ競争ノナイトコロノ特産物デアル白下ニ
向ッテ、稅率ノ輕減ナリ、其他ノ方法ニ向ッテ、保護ヲ加ヘルト云フコトハ、即チ唯今次
官カラ御話ノアツタコロノ調節ノ目的ヲ達シヤシナイカト思ヒマス

○政府委員(若槻禮次郎君) 是ガ特殊ノ物デ、外ニナイ物ナリヤ否ヤト云フコトハ技
術上明カデハナイ、其點モ聽イテ見タノデアルガ、是ハ出來得ルト云フノデス、ソレモ亦
外デハ出來ヌ、一種ノ製法ニ依テ出來ル物デ、態々出來タ物ヲ是ニ爲スコトノ出來ヌモ
ノト云フマデニ、チャント確定シテ言フコトガ出來ルカト云フト、其處マデハ技術家ハ吾
ニハ言ハヌ、サウデナイト云フ點ガ一點、今一點ハ是ト是同ジヤ否ヤト云フ問題ニナル
ノデス

○山本悌二郎君 ソレデハ私ハ一ツ提案者ノ諸君ニ聞イテ戴キタイ、結局今ノ次官ノ
御話デアルト、此物ガ今特殊ノ保護ヲスルトカ、稅率ノ輕減ヲスルトカ云フコトニ依テ、而
シテ其地方ノ砂糖業ト云フモノハ、ソレニ依テ助ケテ行クト云フコトノ考ニハナリ得ナイ、ソ
レカラ此物ガ特ニ其地方ノ特産物デアッテ、外ニハ眞似ノ出來ナイ物ダト云フコトガ、シ
カト鑑定ガ出來ナイト云フ御話デアリマスガ、今承ハレバ四國邊ニ於テハ一千万斤モ造ッ
テ居ルト云フノデスカラ、四國九州邊ノ可ナリノ部分ヲ占メテ居ルモノデアルト思ヒマス
ラ、少ナクモ此部分ニ向ッテ稅率ノ輕減ヲ爲ス以上ハ、之ニ依テ其地方ノ産業ハ助カル
ノデハナイカト私ハ外カラ推測シテ居ルガ、果シテサウ云フ事情デアルカ、此白下ト云フモ
ノガ四國九州等ノ砂糖ト云フモノニ於テハ重大ナルモノデアルヤ否ヤ、ソレカラ此砂糖ハ
外デハ眞似ノ出來ナイ物ノヤウニ思フテ居ルカ、ソレトモ外ニ出來ル處ガアリマスカ

○中川虎之助君 別ニ臺灣デモ白下ハ出來ヌコトハナイシ、外デハ白下ハ出來ヌコト
ハナイト云フコトハ言ヘマスガ、是ハ營業ノ上カラ私モ臺灣デ自分ニ工場ヲ持ッテ自分モ
白下ヲヤッテ來タガ、實際臺灣デ白下ヲヤッタラバ非常ニ不利益ニナル、ソレハ途中デ
膨張スルカラ船嫌フテ、倍ノ運賃ヲ出シテモ容易ニ積マウト云ハヌ、石崖ヲ崩シタヤウ
ニネバノ、ガハミ出シテ來ルノデ、非常ニ船ガ嫌フ、蜜モ運搬ノ上ニ餘程困ルガ、是モ
ナカノ、困ル、ソレカラ四國アタリデハ白下ヲ主ニスルト云フノハ外ノコトデハナイ、其イ方
ノ砂糖ハ臺灣デ競争スルカラ、勝目ガナイ、ソコデ今マデアッタヤツガ餘ツタ、ソコデ白下デ
地方ノ習慣ノ情力ノ御客サンニ向ッテ供給シテ、現在ノ白下ノ顧客ヲ維持シテ居ルノガ
糖作上ノ唯一ノ仕事ニナッテ居ル、其イ砂糖モ出來ヌコトハナイガ、損力往クカラ合ハヌ、
此白下ト云フモノハ品位ガ違フト云フコトヲ大藏省ノ技師ニ調ベサシタラ、頻リニ其イ
物デアルト云フカラ品位ガ特殊ニ其イ物ノヤウニナッテ來ルタメニ、低減スルコトハ出來ヌ
ト云フヤウナ御話ガアルガ、其他ニ於テ甚ダ黒糖ト稅率ヲ同ジウスルト云フコトハ宜カラ
ウト思フノデアル、次官ノ御話デアッタガ、此點ハ昨日モ今日モ昨年も品位ガ宜イトカ
云フ、大藏省ノ技師モ誰方カ知ラヌガ宜イト鑑定シタ點ニ於テ、頗ル私ハ實際家ト議
論ヲ異ニスル

○委員長(三土忠造君) 後ハ雜談ニ致シマシテ、今日ハ會ヲ閉ヂマス

午後零時三十一分散會

明治四十四年二月十四日印刷

明治四十四年二月十五日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局